【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成20年7月10日(2008.7.10)

【公開番号】特開2002-69739(P2002-69739A)
【公開日】平成14年3月8日(2002.3.8)
【出願番号】特願2001-170089(P2001-170089)
【国際特許分類】
Ｄ０１Ｄ　5/08　(2006.01)
Ｄ０１Ｄ　1/09　(2006.01)
Ｄ０１Ｄ　4/00　(2006.01)
Ｄ０１Ｄ　5/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０１Ｄ　5/08　B
Ｄ０１Ｄ　1/09
Ｄ０１Ｄ　4/00　Z
Ｄ０１Ｄ　5/34

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月23日(2008.5.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　樹脂供給口と、樹脂供給口から流入された溶融樹脂の流路となる溶融樹脂流路と、前記溶融樹脂流路を通過した溶融樹脂を吐出する吐出口と、前記溶融樹脂流路内の溶融樹脂の温度を調節する温度調節手段を備えていることを特徴とするプラスチックファイバの紡糸装置。
【請求項２】　前記吐出口から吐出されたファイバの直径を測定する直径測定装置と、この直径測定装置の測定結果に応じて前記温度調節手段を制御するフィードバック機構を備えていることを特徴とする請求項１に記載のプラスチックファイバの紡糸装置。
【請求項３】　樹脂供給口と、樹脂供給口から流入された溶融樹脂の流路となる溶融樹脂流路と、前記溶融樹脂流路を通過した溶融樹脂を吐出する吐出口とを備えた紡糸装置であって、
前記溶融樹脂流路の内壁がセラミックスからなることを特徴とするプラスチックファイバの紡糸装置。
【請求項４】　請求項１～３のいずれか１項に記載のプラスチックファイバの紡糸装置を用いてプラスチックファイバを紡糸することを特徴とするプラスチックファイバの紡糸方法。
【請求項５】　紡糸後のプラスチックファイバに延伸処理を施して得られる延伸糸の、長さ方向における設定直径に対する直径の変動率を±３％以内とすることを特徴とする請求項４に記載のプラスチックファイバの紡糸方法。